

べるふ
verve

01

あなたと栄仁会をむすぶ情報誌
August 2008

特集

4つの医療サービス

医療法人 栄仁会と宇治おうばく病院が提供する

ひと目でわかる

栄仁会施設マップ

活気あふれる現場の声。

各施設で働いている
皆さん、栄仁会の魅力を
教えてください

医療法人 栄仁会
宇治おうばく病院

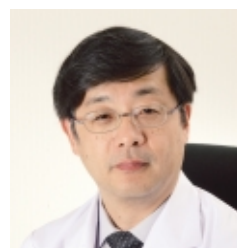
べるふ:伝語のVERVE「活気」より

季刊誌の創刊にあたって



理事長 奥宮 祐正

2年前に病院新築工事が竣工して、患者さん・職員にとっても快適な治療環境が整いました。さて病院×診療所・病院×病院連携の必要性は誰もが認めているものの、近くの病院がどのような医療を行っているか、どんな疾患の治療を得意としているかなど、内状については意外と知られていないものです。そこで、定期的に発行する季刊誌を通じて、栄仁会の病院・診療所・施設の最新の情報をお知らせできることになりました。当院が力を入れている4つの分野、①精神科急性期②うつ・ストレス疾患③認知症④精神科身体合併症および関連の介護保険事業所の気迫のこもった活動状況について、特集を組んで逐次紹介していく予定です。さらに日々の診療・介護に役立つ医学情報や今後病院近辺の寺社・仏閣の豆知識、見どころなども適宜掲載し、楽しく読め、しかも資料として残しておこうと思えるような季刊誌にしたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



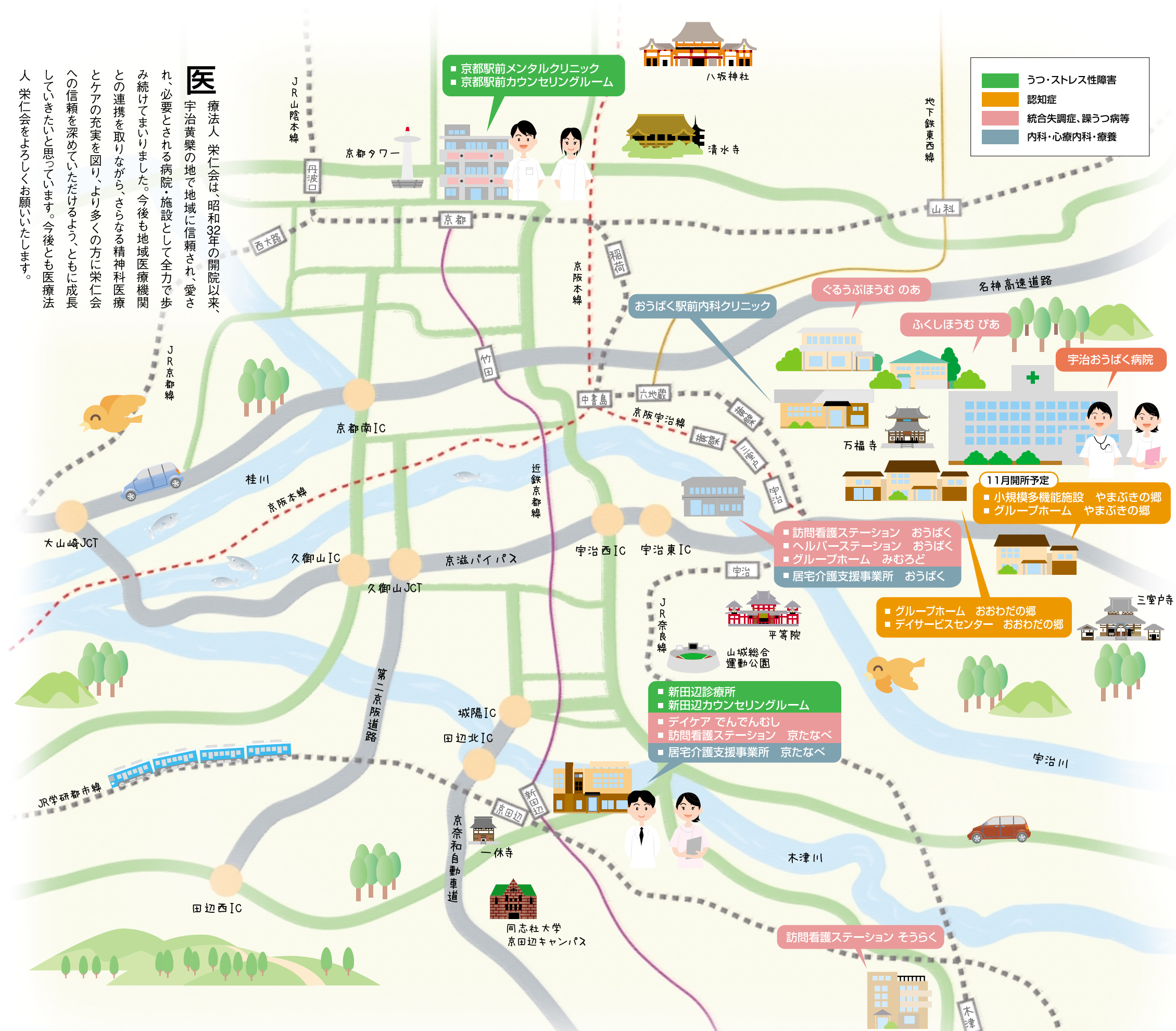
院長 三木 秀樹

より多くの方に、宇治おうばく病院が行っている医療・介護・リハビリサービスの内容を知っていただきたいの思いから、今回、季刊情報誌を発刊することになりました。

うつ病・認知症の方々への対応の仕方、精神疾患の急性の増悪時における速やかな対応の方法など、病気・治療についての具体的な知識の啓蒙や普及につながればと考えています。また、サービスにかかわる職員一人ひとりの生の声を掲載していくことで、職場の活性化につながることも期待しています。

当院は、今後も精神科急性期治療、急性症状改善後のリハビリおよび就労支援、また、うつ・ストレス疾患の入院治療から外来、復職までのリハビリシステムの確立、医療・介護を合わせた認知症治療と在宅支援、精神科疾患を持つ人の合併症治療などに積極的に取り組みながら、利用者の方に栄仁会、宇治おうばく病院をより身近に感じていただけるよう、努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

医
療法人 栄仁会は、昭和32年の開院以来、宇治黄檗の地で地域に信頼され、愛され、必要とされる病院・施設として全力で歩み続けてまいりました。今後も地域医療機関との連携を取りながら、さらなる精神科医療とケアの充実を図り、より多くの方に栄仁会への信頼を深めていただけるよう、ともに成長していきたいと思っております。今後とも医療法人 栄仁会をよろしくお願いいたします。



地域とともに成長 してきた、私たちの軌跡です。

うつ病？ ストレス性障害

ひ とくちに「うつ病」といっても、病気のタイプや回復段階はさまざま。当院では、専門外来や復職トレーニングセンター、ストレスケア病棟など、うつ病やストレス関連疾患の治療やリハビリテーションのメニューを幅広く取り揃えています。仕事のあつ方も通院しやすいよう、夜間診療のみのメンタルクリニックなども開設。多様な専門家チームがその方のご病状や状態に最適な治療・リハビリテーションメニューを提供し、トータルにケアいたします。入院治療では、休息や環境調整にお使いいただけるストレスケア病棟だけでなく、強いうつ状態にある急性期の方が、集中的・保護的な治療・看護を受けることができる病棟もあります。

- 外来／診療・通所（宇治おうばく病院）
 - うつ・ストレス外来 ※当院は、精神科外来共通
 - バックアップセンターきょうと（復職トレーニング専門デイケア）
- 在宅／訪問・通所（栄仁会施設）
 - 新田辺診療所
 - 新田辺カウンセリングルーム
 - 京都駅前メンタルクリニック
 - 京都駅前カウンセリングルーム
- 入院・入所
 - 精神科急性期治療病棟
 - ストレスケア病棟（悠々）
 - 一般病床

うつ・ストレス圏

現代社会において、うつ病やストレス関連疾患に悩む方はますます増加しています。当院への受診、入院患者さんも大変多く、時には受診や入院を待っていただかないといけなこともあるのが現状です。今後は、うつ・ストレス疾患にかかわるスタッフを増員・充実させ、地域の方の期待に応えていきたいと考えています。

〈写真右〉医長 露木 美也子（京都府出身、やぎ座）
 〈写真左〉医師 竹田 明子（京都府出身、うお座）



最 近物忘れがひどくなったような気がする。と心配されている軽度の方から、重度の認知症の方まで、専門医が丁寧に診療します。ご本人の病状・状態等に合わせて、「在宅で療養を継続したいけれど通院が困難」という方には、ご自宅への訪問診察も行っています。精神症状や行動障害、身体合併症（肺炎など）が現れた、ご家族の介護疲れがひどいなどで、在宅生活の継続が一時的に困難となった際には、入院治療を行うことで、在宅生活の継続をバックアップします。また、介護保険による訪問・通所・その他の多様な在宅介護サービス体系を整備しています。ご利用については、ケアマネジャーが一人ひとりに最適なケアプランを提供します。

- 外来／診療・通所（宇治おうばく病院）
 - 物忘れ外来
- 在宅／訪問・通所（栄仁会施設）
 - デイサービスセンター おおわだの郷
 - デイケア でんでんむし
 - 訪問看護ステーション
 - ヘルパーステーション おうばく
 - 新田辺診療所
 - 小規模多機能施設やまぶきの郷（2008年11月）
- 入院・入所
 - 認知症病棟
 - グループホームおおわだの郷
 - 小規模多機能施設やまぶきの郷（2008年11月）
 - グループホームやまぶきの郷（2008年11月）

認知症圏

認知症は治らない病気ではありますが対応の仕方や服薬により患者さんの状態がとて変わること多々あります。アドバイスや薬の処方により患者さんやご家族の方が少しでも穏やかに過ごす手助けが出来ればと思います。また、認知症の周辺症状が激しいと介護サービスでは対応し切れないことがあります。この部分について病院が積極的に手助けできればと思います。

医長 樋川 毅（大阪府出身、おうし座）

医療法人 栄仁会と
宇治おうばく病院が
提供する

4つの医療サービス

- 外来／診療・通所（宇治おうばく病院）
 - 精神科外来
 - OT室リポーン
 - デイケアみらい
- 在宅／訪問・通所（栄仁会施設）
 - 訪問看護ステーション（おうばく・そうらく・京たなべ）
 - ヘルパーステーションおうばく
 - 新田辺診療所
- 入院・入所
 - 精神科急性期治療病棟
 - 回復期病棟
 - 精神療養病棟
 - グループホーム（みむろど、のあ）
 - 福祉ホーム（びあ）

人 がそれぞれ違うように、「こころ」の悩みや苦痛も人それぞれ。医師、看護師をはじめ作業療法士、臨床心理士、精神保健福祉士、薬剤師、栄養士など多職種でチームを構成し、「こころの健康」に関する強い不安感や苦痛の緩和から休息、生活調整まで、さまざまなニーズに対応します。各治療、リハビリテーションメニューは、インフォームドコンセントを原則として、利用者の方へご家族と共に進めてまいります。併せて予防、教育や各種社会資源利用のご提案、手続きも行い、地域医療へつなげていきます。また入院治療は、急性期から回復期まで、症状に合わせたアメリティを配し、快適な治療・看護を受けることができます。

統合失調症圏

「しっかりうけとめ・ゆつくりなおし・きっちりもどす」…急性期病棟在院日数50～60日程度のゆつたりした治療環境を目指します。もちろん多様な症状や難治例へのケアもより充実させていきます。迅速な入院や、地域との早く正確な情報交換も重要です。今後は、当院の治療構造や病棟の特色ももっとアピールしていきたいと思ひます。

医長 岡 正悟（京都府出身、みずがめ座）



身体合併症 内科

精 神科の身体合併症治療病棟の他に、内一般内科疾患をはじめ、内科医と精神科医の2人主治医体制を整備。心身症、神経症の方、身体疾患が原因で精神症状を生じている方、症状が精神病、脳器質性精神障害、精神疾患のある方で身体疾患を合併している方、認知症で身体疾患を合併している方、せん妄などの複雑な意識障害の方など、幅広い疾患に対応しています。また、MR検査（京都府立医大放射線科関連施設で遠隔診断）、CT検査、X線検査（一般および透視）、消化器内視鏡検査、超音波検査（腹部および心臓）、血圧脈波検査、ホルター心電図検査、血液生化学、血液一般、血液ガス分析、脳波検査などが実施可能です。

- 外来／診療・通所（宇治おうばく病院）
 - 内科・心療内科外来
 - 禁煙外来
 - リハビリテーション室（訪問リハビリテーション）
- 在宅／訪問・通所（栄仁会施設）
 - 訪問看護ステーション（おうばく・そうらく・京たなべ）
 - ヘルパーステーションおうばく
 - おうばく駅前内科クリニック
- 入院・入所
 - 一般病床、医療療養病棟
 - 介護療養医療施設むつみ

高齢者身体疾患圏

身体疾患からせん妄状態を呈している方、身体疾患を合併した認知症の方、自殺企図等のさまざまな事情により身体管理が必要になった精神疾患を有する方などを受け入れ、内科医と精神科医の2人主治医体制で治療を行います。精神も身体も危機的な状況に陥りながら、驚異的な回復をされる方をたくさん診てまいりました。決して諦めない姿勢が大切だと感じています。

副院長 岡崎 信也（広島県出身、さそり座）

患者さんの笑顔が戻る。それが私たちの願いです。



患者さんに安心していただくことが第一。

精神科身体合併症病棟 主任 看護師 佐藤和子

◆お仕事の内容について教えてください。

身体合併症病棟にて、看護師をしています。内科的な身体管理や、認知症の患者様のメンタルケア・療養の援助を行っています。

◆この仕事を選ばれた理由は? また、やりがいを感じる時は?

中学生の頃からの憧れで、たくさんの人と接する仕事につきたい、病気の人の力になり、自分が輝ける職業につきたいと思いついて看護師になりました。つらい闘病生活の中で、患者さんの笑顔を垣間見た時、頼りにされたとき、ぎゅーと手を握り返されたとき、この仕事についてよかったと思います。

◆患者さんに元気をもらったエピソードは?

「明日もまた来てや」。笑顔で言われ、疲れが吹飛びました。

患者さんが元気に退院されるたび、やりがいを実感。



急性期病棟は回転が速くとも忙しい病棟ですが、やりがいも大きいです。

精神科急性期治療病棟 主任 看護師 今井直子

お仕事の内容について教えてください。

看護師長の補佐役を務め、またスタッフの教育係も兼任しています。急性期病棟は回転が早く忙しい病棟ですが、スタッフ間の仲の良さが自慢。皆で協力して仕事にあたっています。

やりがいを感じていらっしゃることは?

人と直接向き合う仕事が好きで、この仕事を選んだのですが、やりがいを感じるの、何より患者さんが元になって退院される時ですね。本当に嬉しいです。

患者さんに元気をもらったエピソードは?

ふとしたことで、「ありがとう」のひと言をいただくと、心が温かくなって、また頑張ろうと元気がわいてきます。

患者さんの笑顔が、何よりのビタミン剤。



介護者としてどんな自分に成長できるか。毎日がチャレンジです。

認知症疾患治療病棟 主任 介護福祉士 曾谷 愛子
グループホーム おおわだの郷 介護福祉士 笠原正護

お仕事の内容について教えてください。

認知症を持つ高齢者の方へ日常生活の援助をさせていただいています(曾谷)。認知症高齢者の方が日常生活を営む上で一人ではできないことを介助・お手伝いしています(笠原)。

やりがいを感じていらっしゃることは?

患者さんにたくさんのことを教えていただき、たくさん感動をいただき、一緒に過ごす時間を共有しながら共に笑顔になれるこの仕事は最高です(曾谷)。

患者さんに元気をもらったエピソードは?

ちょっとした世間話などから大きな声で笑われたり、笑顔になられると、こちらも楽しくなり、元気がなります(笠原)。

各施設で働いている
皆さん、栄仁会の魅力を
教えてください

ここでは、栄仁会の各施設で毎日、いきいきと働いていらっしゃる職員の方に、それぞれの仕事内容ややりがいを感じているところ、この仕事に就いてよかったと思ったり、患者さんとのやりとりやエピソードなど、いろいろお聞きしました。
これが、栄仁会スタッフの生の姿、生の気持ちです。

毎日患者さんから、仕事へのエネルギーをもらっています。



患者さんができることを一つでも増やしてさしあげたい。

精神科デイケア miraい 精神保健福祉士 堀次 仁美
精神科作業療法室 作業療法士 安本千恵
リハビリテーション室 理学療法士 石田詩央里

お仕事の内容について教えてください。

筋力トレーニングや歩行訓練、ADL動作訓練を行っています(石田)。リハビリプログラムを実施したり、必要に応じて患者さんの生活・家族関係・制度や手続き等の相談のつたりもします(堀次)。患者さんが望まれる生活を送ることができるよう共に考え、その過程をサポートします(安本)。

やりがいを感じていらっしゃることは?

なかなかうまくリハビリが進まないときに、方法を変えてみてうまくいくと、嬉しいです(石田)。病気を抱えつつも、患者さんが自分らしい生活を再構築されたり、少しでも健康な頃の感覚を取り戻せたという言葉を聞くと「やってよかったな」と思います(堀次)。まだまだ目の前の仕事をこなすので精一杯なんですけど、作業療法を利用される中でその方の「できる事」を新たに発見したとき(安本)。

病院と地域をつなぐ仕事に魅力を感じています。



オフの日は、娘と出かけるのが楽しみ。病院ではフットサル部にも入っています。

外来地域センター 主任 精神保健福祉士 大塚剛史

お仕事の内容について教えてください。

精神保健福祉士、地域移行支援ブロック専従のpsw(精神保健福祉士)として勤務。主に地域の受け入れ体制が整えば退院可能な、長期入院患者さんの退院を支援しています。

やりがいを感じていらっしゃることは?

患者さん一人ひとりの状況、背景に向き合いながらその方の人生に触れ、地域での生活が実現できるよう、「オーダーメイド」ともいえる支援をさせていただける点ですね。

患者さんに元気をもらったエピソードは?

地域でのイベントや集まりなどで、退院された患者さんのいきいきとした姿を見ると、とても嬉しくなって、元気をたくさんいただきます。

患者さんの変化に励まされる、やりがいのある毎日です。



幅広い職種職員がいますが、チームとしての絆はとて固いです。

精神科デイケアmiraい 精神保健福祉士 松岡良樹

お仕事の内容について教えてください。

地域と医療をつなげる場であるデイケアで、一スタッフとして主に就労生活の支援をしています。障害を抱えながらも働ける喜びや生き甲斐を、患者さんと共に模索しています。

やりがいを感じていらっしゃることは?

支援の中で患者さんが自分の選択する道を見出し、自分の意思を持って歩み始めた時、また、今後の方向性を見つけデイケアを卒業されていった時、心からやりがいを感じます。

オフの日はどうされていますか?

平日、仕事をしっかりこなすために家でごろごろしていることが多いです(笑)。最近は一晩酔も楽しんでます。特に今は地ビールが熱いです! 皆さんも如何でしょうか?

人の役に立ちたくて、この仕事を選びました。



ゆったり休養をとっていただける環境が整っています。

ストレスケア「悠々」・回復期病棟 看護師 藤田仁美

お仕事の内容について教えてください。

ストレス関連疾患の治療を行うゾーンと、精神疾患の回復期にある患者さんの退院・復帰を目指すゾーンがある病棟での勤務です。毎日患者さんのお話を親身になって聞くことが仕事です。

やりがいを感じていらっしゃることは?

各種専門職によるチーム医療を実践する中で、自分も患者さんの回復のために尽力できているということ。患者さんから「ありがとう」といわれた時は、とくにやりがいを感じます。

患者さんに元気をもらったエピソードは?

「あなたが来てくれたら安心だ」といった、患者さんのふとした、さりげないひと言に、元気をもらいますね。

TOPICS

レポート

宇治おうばく病院50周年記念メンタルヘルスセミナー開催。 『働く人のメンタルヘルス～うつ病のかたの復職支援～』

宇治おうばく病院50周年記念メンタルヘルスセミナーが、去る6月14日ホテルグランヴィア京都で開催されました。第一部では精神科医で京都文教大学の島悟教授が講演。精神障害による長期休職者が急増している現状について触れ、組織としてのメンタルケアおよび復職支援の取り組みの必要性を強く訴えられました。

続いてシンポジウムでは、5名のシンポジストが、それぞれの職場での復職支援の具体的な取り組みについて説明。メンタルヘルス対策の必要性を実感しながらも、現場のとまどいによる有効な支援導入の難しさがあるなどの意見に、約二百七十名の参加者は、熱心に耳を傾けました。



禁煙コラム①

精神科病院の全敷地内禁煙 ～精神科病院でこそ全敷地内禁煙を～

宇治おうばく病院は、精神科病院として、おそらく全国で初めて全敷地内禁煙に踏み切った病院。そして現在もその取り組みを継続しています。

いまでも「病院」での禁煙は当たり前になっています。しかし精神科病院に限ると禁煙をそれも全敷地内にまで拡げて実施しているところは全国でも数えるほどです。

当院は04年7月1日より全敷地内禁煙に踏み切りました。精神科病院としてはおそらく全国で初めての試みであり、何より、現在もその取り組みを継続できていることを誇りに思っております。

この取り組みは精神科よりむしろ他の科で評価されています。05年秋、当時の日本循環器学会会長、藤原久義教授のご依頼で当院の全敷地内禁煙の取り組みについて「精神科病院での禁煙」という演題で講演をさせて頂きました。講演後「日ごろの精神科での取り組みの遅れへの疑念が払拭された」さらには「溜飲の下がる思いである」とまで言って頂きました。この年は「9学会合同の禁煙ガイド

ライン」が出された年であり、その取りまとめを藤原教授が担っておられたのです。「9学会」とは禁煙に深く関与する9つの学会を意味し、日本循環器学会、日本口腔衛生学会、日本口腔外科学会、日本公衆衛生学会、日本呼吸器学会、日本産科婦人科学会、日本小児科学会、日本心臓病学会、日本肺病学会が含まれています。日本の医療を担う錚々たる顔ぶれであることは言うまでもありませんが精神科を代表する学会は一つとして入っていなかったのです。喫煙はWHO（世界保健機構）も認める精神科の疾患であるのに、です。教授はこのあたりのことを指摘されていたのです。

「精神科での禁煙はできない」との思いが精神科関係者に未だに強く残っているのです。残念ながら、現在も精神科関係者の方からは「精神科病院で禁煙？」と驚きの気持ちで見られるのが常です。これは「精神科患者さん

をどうみるのかという精神科に携わるものの見方にかかわるものでもあります。

現在進行形ではありますが「精神科病院で禁煙？」ではなく「精神科病院でこそ全敷地内禁煙」をご理解いただくためのこれまでの患者さんとわれわれ職員との物語をお示できればと思います。

村井 俊彦

地域支援部部長・医師（在職14年）

仕事は、診療とスタッフが仕事をしやすいするための下ごしらえ。オフの日は「よく寝ます」。趣味は読書。



デイケアみらいの作業療法士とメンバーの方々が制作された、タイルモザイク製の禁煙看板。

編集後記

創立50周年を迎え、昨年は季刊誌0号の位置づけとして記念誌を制作しましたが、この度ようやく季刊誌創刊号を皆さまに見ていただくことになりました。

まずは宇治おうばく病院を中心とした医療法人栄仁会の全容をわかりやすく俯瞰していただけるものを、欲張って詰め込み過ぎないようにと考えて第1号を制作しました。夏真っ盛りの時期に創刊というのも珍しいかもしれませんが、爽やかなデビューになったとスタッフ一同、自己満足感に浸っております。次号も期待感を持って手にしていただければ幸いです。

（広報委員会 荻本義比呂）

“よりそって医療、よりそってケア” 病院スタッフ募集

職種 ①看護師 ②准看護師 ③看護補助者（臨時のみ・無資格可） ④薬剤師

勤務 ①② 8:30～17:00・16:45～翌8:45（病棟2交替）

③ 8:30～17:00（早出・遅出・夜勤有/週5日）

④ 8:30～17:00、9:30～18:00

待遇 ①②④ 年間休日113日、有給休暇・特別休暇・各社保完備 ③各社保完備

①② 常勤者には、就職支度金として20万円支給!!

応募・問い合わせ 詳細はお気軽にお電話ください。0774-31-1362（担当/総務管理室 松本）

院内保育所完備!

（表紙モデル） 精神科急性期病棟 看護師 大谷勇生（京都府出身、さり座） 一般病棟（内科） 看護師 隅田理恵（高知県出身、てんびん座）



2008年8月1日発行

発行:

医療法人 栄仁会
宇治おうばく病院

●ホームページ

<http://www.eijinkai.or.jp>

携帯サイトは、こちらから。

